

市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成24年4月18日（水）午後6時30分～9時00分
 【会 場】東春コミュニティセンター
 【対象地域】東町、春日町
 【出席者】41人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
保健福祉部	2階建にするということですが、安全性については検討されたのでしょうか。	【こども未来課長】2階建にする場合については、屋内階段の他に屋外階段、または避難用のバルコニー等の設置をしなければならないという義務付けに基づいて、設計も考えていきたいと思えます。さらには、避難用の滑り台やエレベーター等の設置も行っていきたいと思えます。また、火災等の緊急時につきましては、幼い子どもたちに対しても、避難誘導できるように、保育士が的確に誘導できるようにしっかりと定期的な避難訓練等も行っていきたいと考えております。
保健福祉部	18年ほど認可外保育所で働いていました。定期的に避難訓練をしていましたが、訓練でさえ子どもたちは怖がります。実際、何か起こった場合は、保育士も慌てて予定どおりのことはできないと思えます。就学前の子どもたちが2階から自分の力で避難するのは避難路があっても難しいと思えます。まちなか以外に候補地がないのであればともかく、麻町や中央保育所の広い場所があるのに、メリット・デメリットが分からないわけではありませんが、子どもたちのために安全を1番に優先させて場所を決めていただきたいと思っているのですが。	【市長】通常平屋建てが理想だと思えます。2階は年齢の高い園児の教室と屋内遊技場になります。年齢の低い園児は、1階にするように考えています。心配されていることは無いとは言いきれませんが、ほとんど無いような状況になると考えています。過去に保護者のみなさんとお話ししたときに、園庭が小さいというお話がかなりありました。そういうことで工夫した結果、都会では実施されておりますが、屋上にも土を入れて園庭と同じ状況づくりが可能ということになりましたので、今ある保育所の園庭と同じかそれ以上の面積になります。心配されている2階建ては、他の市でもたくさん出てきています。子どもを預かる以上は、預かっている時間は、行政が責任を持って保育するということでご理解していただきたいと思います。 【副市長】心配されていることは他でも言われている部分です。

<p>経済部</p>	<p>温浴施設の場所が保育園になった経過というのはどういうことですか？</p>	<p>避難路の関係ですとか検討しなければならないということで、内部で話しているところです。</p> <p>【市長】冒頭のあいさつでも少し触れさせていただきましたが、まちづくり会社の方で温浴施設の計画をしておりました。それが一つと、それからなぜやめたかということは、まちづくり会社の方では、対外的に温浴施設、アトリウム、7階建てのマンション、老人ホーム、クリニックの計画が示されていました。その後、市の方に温浴施設は採算が取れないという状況で、（まちづくり会社が）別な形をお願いに来ました。アトリウムだけでは、市街地の活性化は大変厳しいということで、富良野の市街地活性化の中に、お年寄りと子どもがふれあうような状況づくりの施設も必要ではないかということで、市はアトリウムの形を変えて、こども園を計画しました。ですから温浴施設の代わりにということではありませんので、この機会に私の方からお答えさせていただきました。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>総合こども園というのはよく分かりませんが、今までどおりにやっていくのでしょうか。2つの保育所を統合して今までどおりに市が責任を持って、子どもを見ていくということですか。そういう点は変わらないですか。</p>	<p>【こども未来課長】従来の保育機能にプラスして、幼児教育の機能を導入して行うということになります。総合こども園になっても従来どおり市が直営により運営するという方向で今考えております。</p>
<p>経済部・保健福祉部</p>	<p>総合こども園と共同住宅の建てる予算は別々になりますか。</p>	<p>【中心街整備推進課長】この事業は、一緒に行う事業ですが、あくまでも、事業主体はふらのまちづくり会社ですから、まちづくり会社が負担する部分、市が負担する部分というふうになり、総合こども園は市が負担する部分として事業を実施していくという考え方です。</p>

経済部・保健福祉部	できれば予算的に一緒であれば、共同住宅とこども園を付けて、1階フロアーを総合こども園できないのかなと思ったのですけど。	【中心街整備推進課長】（マンション棟などの）東5条通に面するところは、商業ゾーンを形成していく考え方です。（マンション棟の）1階については、商業ベースの飲食店・物販店を配置して5条通と対面するような形で商業ゾーンを形成していく考えです。1階部分にこども園をというご質問ですが、そこもいろいろ話してきた部分です。まちづくり会社としては、商業者がいる中での話なので、商業の顔を潰すことはできませんし、交通だとかいろいろな問題がありますので、往来の激しい東5条ではなくて、東4条側にこども園を計画したらどうだろうかということで、お互い協議をしながら進めてきた結果、場所が決まってきたということです。
経済部・保健福祉部	温浴施設が作られなくなったというお話が何回かありましたが、温浴施設が無くならなかったらどうだったのか、あるいはその前からあの場所に作りたかったのかお聞きしたい。	【中心街整備推進課長】駅前事業を立ち上げたときに、アンケート調査を行って温浴施設がほしいという結果がでました。ですが、駅前にはできないということで、マルシェの事業の部分もあり、今の4条街区での部分での計画もありました。いろいろ検討した中で、4条街区に温浴施設を建てたらどうかという話がありまして、この街区で計画したところでした。まちづくり会社はあくまでも民間会社なので、事業で採算の取れないものについては、手をだしていくことにはならないので、採算を考えてこの場所ではあきらめたという形になりました。例えば、活性化事業がどんどん進んで、街の中が活性化されてくるような状況になれば、まちづくり会社としても温浴施設を考えていきたいという話をしていますので、将来に向けては考えられると思っています。 【副市長】今まだ答えていないと思います。総合こども園をその場所に検討したのは、中心市街地活性化基本計画の中に、行政施設を設けるという項目が入っています。そこに何か持って行けないかということでいろいろと検討させていただいていました。第

5次総合計画の中に、麻町と中央をあわせた再編ということが考えられていました。そこへ国の動きとして総合こども園というのがでてきて、保育所だけではなく幼稚園も併設しなさいという形ができました。幼稚園となる場合は、どういう場所が良いだろうか、併設の施設が中心市街地に入ることができないだろうかと検討した中で、初めは温浴施設の計画があったために無理であるということでしたが、その計画が無くなったことによって、その面積に入ることができるだろうかということを再度検討させていただき、可能だということ今回（こども園の計画をまちづくり会社へ）持って行ったということです。

【市長】市としては、公共施設をまちの中に建てるということが、第5次総合計画の中でもいろいろ考えていました。駅前で市直営の再開発事業をやりました。現実の問題として、大変不評を買いました。ですから私になって民間の能力をもっと生かそうということで、民間が主体的にやっただけ方式を選択させていただきました。これは補助事業に入りますので、共有する部分については国が3分の1、行政が3分の1、事業主体が3分の1を負担して行うこととなります。今計画をしているこども園については、建物については補助事業が無いので、市が単独で行うこととなります。

基本的な理念の中で子どもを大事にすると言っていますが、私は、子育て支援というのは0歳から5歳までではなく、生まれた時から18歳くらいまでが子育ての対象者と認識しています。家庭教育・学校教育・社会教育があり、この一連によって子どもを育てていく、社会が育てていく。富良野としてそういう形の子どもの育て方が必要だと考えています。協会病院の産婦人科医が2名います。小児科医3名。これだけそろっている病院は、北海道の中の同じ規模の病院でこのような状況の病院は無いと思いま

経済部・
保健福祉部

こども園について、運動会や発表会など保護者が集まる機会があります。その対応をどうするのか。プール授業はどうするのか。国道38号線はすごく混みますので、渋滞対策について教えてください。

す。沿線の行政と協会病院で3年がかりでこういう体制を作らせていただいたという状況です。安心して子どもを産んでいただくということが、子育て支援のスタートだと私は考えております。小児科医がいなければ、産婦人科医だけでは子どもが病気になったりしたときの指導もできませんので、そういう過程を踏んで幼稚園・保育所に入る。次は学校教育です。今、図書館活動と学校の図書については、北海道でも3本の指に入るようになりました。過去の先生たちの努力によって今日に至ったわけですが、文科省の表彰を図書館と富良野小学校が受けました。一連の中でそういう状況づくりをすることによって、18歳くらいまでは富良野市民がこぞって子どもを育てていく状況が、私の信念として必要だと思っています。保育所の関係についてもそういう一連の中で大人が、市民が関わっていく、そういう必要性があるということで計画をさせていただいたということです。

【こども未来課長】運動会についてはもし東4条街区にこども園が建つことになりましたら、園庭が約600㎡程度になります。トラックとしては使うことが可能かもしれませんが、保護者の観覧席を設けることは非常に厳しいと考えています。そのようなことから他の施設、例えば300m離れた富良野小学校の校庭を利用するような方法ができないかと考えています。発表会については、おおむね11月、もしくは12月上旬に開催していますが、駐車場につきましては観光シーズンではないということで、2街区、3街区、さらにはマルシェの駐車場を利用させていただくことで、開催が可能ではないかと考えております。発表会は遊戯室で行っていますが、今約150㎡から180㎡程度の面積で中央・麻町保育所は実施しています。新たな施設になると約250㎡以上の遊戯室の中で発表会を実施するような形ができないかとい

うことで、いろいろと配置計画を考えています。プール授業については、仮にこちら（東4条街区）で実施することになれば、3歳から5歳のクラスは2階の部分にプールスペースが持てないだろうかと。ひまわり幼稚園も今、2階にプールスペースを設けていますので、そういった形で授業ができないか考えています。0歳から2歳の小さなお子さんについては、園庭の小スペースの中で簡易プールを設けて水遊びができないか検討しています。

【中心街整備推進課長】国道38号線については、1日約7000台走っているといわれています。国道38号線からマルシェに入る車、山部方面から入ってくる車は、南4丁目に入ってくると思います。交通渋滞の緩和ですが、関係機関の連絡会議というのがあり、今検討しているのは、国道と東5条の交差点部分を右折・左折レーンを設けて渋滞緩和をしていくという案が示されています。恐らく今年あたりから事業が進められていくと考えています。大型バスですが、まちづくり会社とお話をし、大型バスの誘導については、（東5条から南4丁目に侵入し）マルシェのところに駐車できる状況であれば、その前に駐車していただき、駐車できなければ、南4丁目を本通の方向へ進んでいただき、本通から市役所の駐車場へ停めてもらうなどを考えています。道路の交通形態もまちづくり会社と話をして、今の状況ではこのような流れを作っているという形です。マルシェに駐車場はありますが、東3条通は狭い関係がありますので、極力大型バスは通さない。普通車についても東4条通と南4丁目の交差点で渋滞することもありますので、極力南4丁目を本通方向に進んでもらい、本通から駅方向、または国道38号線方向に行くような交通状況を考えていくことになっています。

【建設水道部長】補足です。国道38号線と東5条通の交差点については、説明のとおり右折レーンを設ける計画があります。右

経済部・
保健福祉部

こども園の安全性の問題で、先ほど訓練や事故にあったときは対応していただけるとのことですが、娘が函館の幼稚園で勤めていて、訓練でも2階から子どもを下すとき、両腕に子どもを抱えるのは大変で、その間に転ぶ子どももいてけがをするなど、2階建ては絶対無理と話していました。平屋建てが一番良いと思いますし、屋上に土まで運んでそういうものを作らなくても、広くて自然豊かな富良野を観光の方でもうたっている中で、無理やりその真ん中（中心街）に作って、にぎわいというのはわかりますが、お母さんたちは働いているので、すぐ子どもを預けてすぐ職場に行き、帰りも一刻も早く子どもを連れ帰り、夕食を準備しなければならないという状況で、のんびり街で回遊するというのは特別なとき以外ないと思います。新聞を読んでいて、これは男の人の発想だと思います。母親が家事をやって働いてということがどんなに大変かということをもう少し考えて、子どもを中心にした考え方をしてほしい。交通だとか駐車場だとかこうなったらこうだとか無理に変えているような気がしてなりません。

折レーンを増設するために用地が足りないため、設計と用地買収を今年進めて、来年から工事をします。交差点改良ですので、単年度で工事を完了するという計画になっています。国道38号線ですが、観光ピーク時は1万2千台から1万4千台の交通量があります。旭川十勝道路富良野道路という道路を作っています、平成26年度に供用が開始となります。開始されるとこの道路を利用して札幌から帯広に抜ける、旭川から帯広に抜ける方がいますので、国道38号線の通過交通が減り、ピーク時でも8千台から7千台まで減るという予測を立てております。

【市長】今のお話は、子どもを育てる親としては当然のことだと思います。富良野に住んでいる以上は、みんなで富良野を良くしていかなければならないです。将来市街地が崩壊する状況を、行政を預かるものとしては放置できないです。子どもたち全員が2階ではなく、年齢の高い子どもたちが2階で保育するという事です。今私の方でも、ひまわり幼稚園だとか2階建ての状況を聞いています。ご質問で心配されている状況は富良野ではあまり無いようです。エレベーターを設置するなど、安全面については、市が責任を持って実施するという事を冒頭申し上げました。これは父兄に責任を持たせるわけではないです。平屋建てで、面積をたくさんとって、子どもを遊ばせたら良いという発想は間違えではないと思います。しかし、これからの時代は、人口が減少していきます。富良野の街を10年後にどのようにしたら良いかを考えた場合に、少なくとも子どもの施設と商店街、住居施設などが一体となった状況づくりが望ましいと私は思っています。これから連合会や各界・各層のご意見をお聞きしながら、総合的に判断しなければならないと考えています。

経済部・
保健福祉部

市長の思いはよく分かります。テレビでスウェーデンの取り組みを見ましたが、お年寄りと子どものふれあいは、素晴らしいと思います。広い場所で和やかに話したりしている。お友だちが旭川でリバーサイドに入っていますが、そこも幼稚園と高齢者の住まいなんです、やはり広いです。気持ちが伸び伸びするという感じなら私も大賛成です。場所の設定が、お母さんたちから反対が起こったということは、やはりそういう所で育ててほしいということ。市長が言われるように、市民みんなで育てるという考えであればなおさら、そういう場所を大人が提供しなければならないと思います。市長の公約の中には、統合して街の中に作りたいというのは伺っていましたが、無理があるんじゃないかと感じていたもんですから、この度こういうお話し会があるということで聞いていただけるならと（参加しました）。でも、いろんな意見を言っても、聞いてもらえなかったと他の人から聞きました。一方的に押さえつけられて、同じ土俵に立っていないような気がするもんですから。今日来てみたら、そんな雰囲気でもないので、聞いていただけるかなと思ってお話ししました。

経済部・
保健福祉部

商業施設と保育所施設を同居させるということで、将来的に子ども・人口が減る。年齢の高い方が増えるというのは分かります。産婦人科医が2名、小児科医が3名いるというのはみんなの努力での結果だというのはありがたいことだと思います。0歳から18歳まで一貫した教育と考えたときに、自分の家から幼稚園や学校に通います。地域に保育施設があって、誰の子どもなのか分かるような顔の見える保育が一番良いのではと思います。小さな町に住んでいた時、常に少人数の保育体制でした。大変なこともありましたが、地域のお年寄りが常に入ってきてくれる。先生の目を盗んで外に出てしまう子どもがいたら、地域のお年寄りが見て

【副市長】聞く側、質問される側の方の考え方の部分があるのだと思います。商工会議所へ行ったときに、布部に保育所があり、それが無くなって、そこまで言うのならもう一度布部に持ってきてほしいというお話もできています。みなさんの意見を聞いていますので、ご理解いただきたいと思います。

【市長】そういう考え方も当然あると思います。否定はしません。富良野の学童保育所はだいたい校区ごとに学童・児童センターあります。保育所の子どもについてはどんどん減っていきます。行政的に考えて、財政的にも校区ごとに保育所を建てていったら、従事する保育士の賃金を含めると膨大な金額になります。富良野市の予算の状況では、保育所関係だけでも金額的には相当な額です。正規職員だけではできません。臨時の保母を含め相当な金額です。これからの市町村を運営していく上で、幼児だけでなくお年寄りの福祉も考えていかなければならないです。商店街としては、商売はもちろんですが、子どもがいることで、にぎわいがで

くれて、園に連れてきてくれます。地域のお年寄りや大人たちに見守られた子どもたちはそのまちが大好きです。そのまちが好きということは、住んでいる市全体が好きになります。そうすれば子どもたちは、その場（市）に残ろうと考えが出てくると思います。街の中央に集めることで逆に顔が見えない。商業施設の方々が、子どもがそばにいてなくて、大人が買い物しやすい、観光客が来て回遊するというのを目的にしているのであれば、子どもの施設や老人施設は別に考えて、もう一度戻して考えるべきだと思います。幼稚園や保育所が老人施設に慰問したりお遊戯会をしたりする機会を作って、近くにある保育・子育て支援は考えられないのかなと思います。東町や春日町などの小さな単位でも広く考えたときに富良野のためになるのではと思います。人数が減るから中央に集める、老朽化で新しくするから統合しなければならないという考えはよく分かりますが、子どものためをと考えたときには、もうちょっと違う考え方で進められないのかなと思いますが。

経済部・
保健福祉部

父兄が反対されているということですが、6,000人以上の方の署名が集まったということで、約4分の1強の人が反対しているということが現在あると思います。昨日の新聞に載っていたようにこども園に賛成の声という風に書かれていましたが、5条商店街の組合員15名がそのような会を設けて、声が上がったとのことでした。街中に保育所を作ることが、麻町や中央保育所のある場所より教育上、良いということで計画を進めているのでしょうか。私は春日町に住んでいますが、狭くて便利を取るよりも子どもに伸び伸びと遊ばせられる環境の方が子育てには良いと思います。この地区の人口が増えているのは、子育て世代の方が私のような考え方をしているのかなと思います。安全で

きる状況づくりで市街地の活性化ができるのではないかということに賛成するとのお話をしていました。それだけ富良野の市街地が衰退している現状もあるということをご理解いただきたいと思います。

【副市長】今のお話のように、それぞれの地域にあれば良いのだろうという気がします。今、常設が2カ所、へき地が3カ所、合わせて2億9,300万円かかっています。保育料が4,800万円で、差し引き2億4,400万円の負担があるということです。本当はそこそこ（の地域）に持って行けば良いのでしょうけど、それが理想だと思います。でも、それが出来ていないというのは財政の部分もあるということをご理解いただきたいと思います。

【市長】商店街の人数が少ないとのことですが、約250件は、まちづくり会社で了解を得ています。保育所を建てることについて同意を得ていると聞いています。言われている15名の方は、その上に立ってお集まりいただいているとご理解をいただきたいと思います。

教育環境の問題ですが、富良野はどこに居ても環境が良いです。違うところでお話合いをしたときに、排気ガスが出るとか騒音がうるさいというお話でしたが、騒音は基準以下です。そういう問題だけを取り上げないで、街全体がどのようにしたら、にぎわいのあるまちづくりができるのかということに協力いただければと思います。買い物をしていないというお話もありました

伸び伸びと走りまわれる子育ての環境を親は望んでいると思います。安全面に関して一番親は敏感になっていると思います。

一つ提案ですが、ふらっとの横に公営住宅がありますが、そこに住んでいる人しかメリットがないと思います。今回もこども園になると、保育所に通う子どもだけがメリットになると思います。私は通う子がいないので行く機会は無くなってしまいます。街中を活性化させるのであれば、市民全員が活用できるようなものを作っていただきたいと思います。子育て世代が望んでいるのは、冬の時季や雨天のときにも子どもが遊べるような施設を作ってほしいと思います。

が、街に来て買いたいものが無いのに、買ってくださいということにはなりませんので、それは商売をしている方が、どうしたら買ってくれるのかということを考えていただかなければならないと思います。人が来ないと商売になりませんので、人を集めることでいろいろな知恵が出てきます。自分の商売に結び付けていくことも考えると思います。明治29年に開拓の鍬（くわ）が入れられ、昔の中心市街地は本通が栄えていました。今は、東5条に移って行きましたが、本通についても、住んでいる方も含めてどうしたら活性化できるかということを検討しています。市街地をどうやって再生していくのかということをお頭に置いていただければと思います。

教育上、街の中が良いと考えているのかというお話ですが、私は、これからは街の中が教育上、非常に良いと考えています。今、子育てしている親たちは、核家族の方が多いと思います。昔は、おじいさんやおばあさんと暮らし、家族の構成が多かったと思います。ですから、おじいさんやおばあさんから教わるのがたくさんありました。今は、核家族になってしまってお父さんやお母さんも生活するために忙しくてなかなか子どもの世話をできない方も中にはいると思います。その補完を保育所の保育士さんが代わって行っています。その保育士さんたちも年齢的に言えば、核家族の中間くらいの方々なので、いろんな角度から子どもにいろいろ教えることは難しいと考えています。そういう意味で、街の中に（こども園を）作ることで、いろんな人が立ち寄っていただける。それによって得るものはたくさんあります。いろんな方がいろんな角度や形で教えることができます。また、子どもから癒しを受けて元気づけられることもあります。そういう意味で、これからの教育は街の中で行う方が今までよりは良いというのが私の考え方です。

経済部・
保健福祉部

極論を言って申し訳ないんですけど、(配られた市の) 図面ですが、何カ所か懇談会を行っていますが、その結果によっては、この図面を書き換えることはできるのですか？ 先ほどから説明を聞いていると「図面に沿ってご理解ください」としか聞こえないです。

【保健福祉部長】総合こども園の話が出たときに、本州の先進地ということで2カ所を視察してきました。一つは、かなり土地も広くて、6万7千人の人口です。保育所が約15カ所、幼稚園が7カ所くらいあります。平成21年に認定こども園という制度があり、いち早く取り組んでいます。最終的に、保育所と幼稚園を合体させて、5カ所にしました。先ほど地域に点在させた方が良いとのお話もありましたが、平成21年には保育所4カ所と幼稚園1カ所を合わせて認定こども園を作りました。平成24年4月も保育所4カ所と幼稚園1カ所を合わせました。建物を公営で建設して、運営は民間に指定管理しています。こども園は、和歌山にありますが、指定管理者は兵庫県から入ってきています。もう一つは大阪ですが、ここは9km²の街の中に6万8千人くらい住んでいます。ほとんどの幼稚園が公立で、保育所を行うためには、3階建てしかないという話がされていました。敷地的に厳しく、住むところが無いくらいの状況の街です。どこか別のところに移して建てるということにはならないのが悩みということでした。先ほど交通のお話がありましたが、和歌山の方は、土地は広いですが国道のそばに建てられています。(これらの現状が) いいか悪いかは別として、土地があるところと無いところそれぞれで苦労しているということです。

【副市長】研修に行ってきたということでお話しさせていただきました。報告ということでお聞きいただきたいと思います。

【市長】議会でもお話をしていますが、市民の各界・各層の方々がどのような考え方を持っているのかをお聞きして、総合的に判断したいということです。それぞれお話し合いした結果、総合的に判断したいというのが私の考え方です。

保健福祉部	現場で直接子どもを見ている先生たちは何とおっしゃっていますか？	【こども未来課長】富良野市としては、東4条街区で提案していますが、仮にここに建てるとしたら、どのようなか形で望ましい施設ができるだろうかという話し合いをしています。限られた敷地面積ですが、安全面・運営面でどのような知恵を出せば良いかという話し合いをしている最中です。
保健福祉部	先生たちは、2階でも3階でも大丈夫と言っているのですか？	【こども未来課長】保育管理をする中で、いろんな課題や先ほど平屋建てが望ましいという部分もありますが、限られた敷地面積ですが、今ある保育施設よりも一人当たりに換算すれば広くなることによって、ゆとりのある余裕のあるような保育環境ができないうだろうかという話し合いも今進めています。
保健福祉部	先生たちの声は直接聞いてないのですか。	【こども未来課長】直接話し合っていて聞いています。一週間に1回程度先生たちと一緒に仮にここで保育することになれば、どのような施設ができるだろうかなど話し合っています。
保健福祉部	保育所の所長が1年に1回代わっているのはどうかと思いますが。	【市長】人事は半年でも3カ月でも行います。それぞれの職場によって働いている方の活用を考えています。今回は4月1日の定期異動なので、それによって人事を行ったということでご理解をいただきたいと思います。
保健福祉部	2月28日に中央保育所、3月1日に麻町保育所で保護者向けの説明会があり、その中で出た保護者からの質問に対する回答が4月12日保護者向けの懇談会の時に配られました。その中で、「不特定多数の人が集う場所なので不審者の侵入が心配ではないのか」という質問に、「不審者対策については児童の安全を守るために、必要に応じて防犯フェンス・防犯カメラ、保育時間内	【副市長】そのときの質問の趣旨が、その場所は観光地でいろんな人が来るということで、危険ではないかという質問があったと聞いています。その質問に対して、もしそういう危険性があるのであればという前提で、回答を書いていると理解しています。

<p>経済部・ 総務部</p>	<p>の施錠・防犯訓練等を行い、セキュリティのしっかりした施設整備に向けて検討していきます」と書いてあります。富良野地域の宝と言っている子どもたちを防犯フェンスに囲まれた中に入れて防犯カメラ。防犯カメラというのは不審者の侵入を止めるものではなくて、事件後に犯人を特定するものだと思います。何かあってからでは遅いと思うのですがどうお考えですか？</p> <p>中心市街地の事業は、最終年度はいつを目標にしているのか？ コミュニティ活動推進員を通じて東春地区コミュニティセンターの屋根の塗装だとかいろいろお願いをしている関係で、各部長のところにスムーズに引き継ぎがされているのか？ 各町内会長に防災ラジオが配布されています。コミュニティ施設にも何かあった場合にラジオが聴けるよう、施設にも1台配置したら良いのでは？</p>	<p>【中心街整備推進課長】事業については、平成20年11月に内閣総理大臣から認定を受けて、平成26年3月までの計画で実施しています。その中で、温浴施設が無くなったり、総合こども園の問題もありますので、手続き上の問題で若干伸びている部分があります。今後、内閣府と協議をしながら事業の延長を考えなければならないと思います。</p> <p>【市長】コミュニティ施設の関係で、屋根の塗装については、計画的に実施していますので、来年度の予算に載せたいと考えています。前の方（の一部塗装）を一昨年に行っていますので、続けて実施するのは、他の施設との関係もあるので、同じところばかりということは難しいです。</p> <p>ラジオについては、市役所内部で検討してお答えします。</p>
<p>総務部</p>	<p>コミュニティセンターの管理をしていますが、屋根の塗装が遅れているので、雪がサラサラと落ちず一気に落雪したため、施設の裏の雪囲いの柱が折れました。来年と言わず、なるべく早くしていただきたいと思います。</p>	
<p>建設水道部</p>	<p>要望ですが、自動車学校へ向かう道路の舗装が狭いので、1mくらい広げてほしいです。 黄金通から布部へ向かう旧国道ですが、道路がぜんぜん整備さ</p>	<p>【建設水道部長】市道管理しているのが689kmあり、舗装率が40%ほどで総合計画に基づいて整備していますが、砂利道を舗装する、道路を広げていくということがなかなか手がついていな</p>

<p>建設水道部</p>	<p>れていないので広くして良い道路にしてほしい。</p> <p>春日町のすみれ公園のトイレが水洗化されていないので、子どもたちが、中が汚いので外で用を足しています。駅裏にあまりトイレがなくて車を運転する方が来て使っているようです。これからの時期は、ハエや匂いがすごくて衛生的に問題があると思います。それと公園にある立木ですが、伸び放題でカラスが巣を作る。木が高くて届かないので、ある程度の高さで切ってもらえればと思います。</p> <p>ごみの問題ですが、3月末ごろ引っ越しで勝手に捨てていく方がいます。当番や近くの人に処理をお願いしていますが、市の方へ話をしたらシールだけ貼って持っていかなかったのが、何袋も置いて行かれたら分別もできないので、そういう場合は撤去してほしい。</p>	<p>い状況です。言われている路線については、一部安全ということでガードレールの要望をいただいていたので、3年くらい前に設置をしました。要望はお聞きしますが、順を追って総合計画により計画的に実施していきたいと思います。</p> <p>【建設水道部長】雪解け後の公園の状況を見て、整備するところは実施していきますが、立木については要望通り対応します。公園の水洗化ですが、毎年1カ所か2カ所を公園のリフレッシュ事業として予算を計上し、徐々に水洗化をしています。優先度を含めて検討させていただきます。</p> <p>【総務部長】ごみについては、それぞれの町内会の住民の皆さまにご協力をいただいておりますが、残念ながら一部そういったところが何カ所かあると聞いています。そういった中で、まずは町内会で勉強会だとかいろんな中で啓発・啓蒙を行いながら協力いただくことが1点。もう1点は、緊急的なところについては現場を見させてもらい、どういった形が一番良いか対処させていただきたいと思います。</p>
<p>総務部</p>	<p>悪いことをするのは町内の者ではないです。全然関係のない人がボンと（置いていく）。今朝なんかは冷蔵庫の中身を一式、固形燃料の袋にいっぱいにして置いてありました。（処理に）1時間以上かかりました。</p>	<p>【市長】担当の係に巡回させて、原因究明するくらいやならいといけないと思います。皆さま方にはご協力を願っているわけですから。トイレの水洗化ですが、すぐできない場合については清掃をして不潔な状態にしておきません。担当者に状況を見てもらい、できれば6月の補正予算までに考えてみたいと思います。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>駅前（開発）の評判があまり良くないと思っています。市の考えでいかようにもなるかと期待しています。</p> <p>高規格道路ですが、国道の渋滞の関係で、国道が渋滞しない状況であれば街が寂れるし、渋滞したら困るしといったようにどち</p>	<p>【市長】駅前の土地は北海道の土地です。市の思うようにできなかったというのが一つあります。国鉄用地にもかかっていますので、希望通りの状況ができなかったというのは反省の一つの材料だと思います。議会でもかなりの質問を受けています。北海道の</p>

らにしても困ったなあと思います。

土地なので購入して変更する状況を作るか、賃貸的なことを考えて、変えていくような方法も考え方の一つです。できてからまだ4、5年しか経っていないので、今やるとまた議会含めていろいろ問題があると思います。昔は駅前にたくさんの観光客がいましたが、バスレーンを作ったために、そういった状況がなくなったこともあります。将来的には、変える必要はあると思っています。何年後になるかはちょっとわかりませんが、そういう方向付けはすべきと考えています。

【建設水道部長】高規格道路ですが、札幌から稚内の北海道縦断道と、札幌から日高の方に抜ける北海道横断道があります。北海道の縦と横には延びていますが、旭川から占冠村までつなぐというのが旭川十勝道路です。一番初めに富良野に高速道路はいらないという論議がありました。その中で街の渋滞緩和という話がありました。車が減ったら街が寂れるじゃないかという論議もされました。今減らせる交通というのは、旭川から富良野を通過して帯広や札幌へ抜けたりする富良野に用事のない車です。富良野を目的に来る車の量は減らず、街に魅力ができれば逆に増える。渋滞と排気ガスだけを置いていくような、用事のない車は街の中を通らないようにする。そういう事業を行っています。

【市長】高規格道路は4つの目的があります。農産物の搬送道路、災害道路、観光道路、救急道路として活用するということです。